

2013.12.16

2013 年度 Richard M. Fulrath 賞授賞式報告

2013 年 10 月 28 日、カナダ、モントリオール国際会議場で開催された米国セラミックス学会、Materials Science & Technology 2013 (MS&T'13) で 2013 年度の Richard M. Fulrath 賞の授賞式と受賞者の記念講演が行なわれました。

Richard M. Fulrath 賞は、日本と米国のセラミックスの科学技術の発展と相互の友好のため、日本側からの基金をもとに、1978 年に設けられ、45 歳以下の研究者の中から、これまで約 160 名が授与されています。1997 年までは、日本側 3 名 (学界 1 名、産業界 2 名) 米国側 1 名 (学界)、1998 年以降は米国側の産業界からも 1 名選出され、各年 5 名が選出されています。受賞者は、米国セラミックス学会でのフルラスシンポジウムに出席して講演することになっています。

今年、日本からは、野口祐二 (東大)、金高祐二 (村田製作所)、堤潤 (太陽誘電)、米国からは、Pelagia-Irene Gouma (State University of New York)、Michael Halbig (NASA Glenn Research Center) が受賞しました。写真は、同日夜に行われた授賞式の風景で、左から、Richard Brow (前米国セラミックス学会会長)、野口祐二、金高祐二、Michael Halbig、Pelagia-Irene Gouma、堤潤、David J.Green (現米国セラミックス学会会長) です。(敬称略)

後藤 孝 (東北大)

